

ARFANEWS

発行所／スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 〒164-8604東京都中野区弥生町1-30-17 (有)ブックハウス・エイチディ内 電話03-3372-6251

■今後の事業案内

第13回ワークショップ (佐賀)

下記要項で、第13回ワークショップを開催いたします。

■開催要項

日程：平成15年2月22日（土）・23日（日）

会場：佐賀県スポーツ会館

〒8490923佐賀県佐賀市日の出2丁目1-11 TEL 095230-7716・7708

テーマ：これから現場に出る方々のための初級講座「スポーツ現場で必要な評価と対応」

趣旨：スポーツ現場で活動している際に、慢性外傷に悩んでいる選手から相談を受けたり、アクシデント（急性外傷）に遭遇することがあります。その際にトレーナーとして行うべき評価と対応や応急処置に悩むことが多くあります。本ワークショップではスポーツ活動現場での外傷に対する必要な評価と対応、すなわち、症状把握のための評価法とそれに基づいて対応すべき処置の技術などの習得を目的とします。

プログラム：

2月22日（土）

12：30～13：00 開場・受付

13：00～13：20 開講式、事務連絡

13：20～14：50 講義「スポーツ現場活動の実際」

14：50～15：00 休憩

15：00～16：30 講義「下肢の急性・慢性外傷の診かた」

16：30～16：40 休憩

16：40～18：10 講義「上肢の急性・慢性外傷の診かた」

18：10～18：20 休憩

19：00～ 情報交換会・懇親会
2月23日（日）

9：00～10：30 講義・実技「スポーツ現場に必要な評価の実際」～アライメントチェックを中心に～

10：30～10：40 休憩

10：40～12：30 講義・実技「下肢外傷に対する評価と対応」

12：30～13：30 昼食

13：30～15：20 講義・実技「上肢外傷に対する評価と対応」

15：20～15：30 閉講式

参加費：会員20,000円、一般35,000円

定員：50名

申し込み方法：FAXまたはe-mailでお申し込み下さい。

申し込み締め切り：平成14年12月31日（火）

◎問い合わせ・連絡先

医療法人 鶴田整形外科 リハビリテーション部 平川信洋

〒8490306佐賀県小城市津町大字勝12416

TEL 095266-4614（リハ直通）

FAX 095266-4133

e-mail t.orth.c@theia.ocn.ne.jp

※定員50名になり次第、終了とさせていただきます。

後援予定：(財)日本体育協会、(財)日本オリンピック委員会（JOC）

スタッフ：開催委員長 平川信洋、準備委員長 石本 健、準備委員 池田幸弘

平成14年度第2回講習会のご案内

期日：平成15年3月16日（日）

会場：国立オリンピック記念青少年センター（小田急線参宮橋駅下車徒歩5分）

テーマ：膝外傷のアスレティック・リハビリテーション～理想のプログラムを追求する～

背景：整形外科領域のリハビリテーションは、バイメカニクスなどの基礎学問から得られる基礎的な知識と、臨床的知見の蓄積の相乗効果で日々進歩しています。また、昨今のEBM（evidence based medicine）への関心の高まりとともに、医療に科学的根拠を求める声が強くなってき

ております。そのような中で、スポーツ外傷のリハビリテーションを実践する我々は、常に最新のevidenceを取り入れておく必要があります。今回は正しい情報収集の方法と医学論文の解釈、そして実際のリハビリテーションの現場における知識収集とその実践についての講習会を企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

プログラム：

<午前>

講義1「膝靱帯へのストレスを探る～バイオメカニクス実験より～」藤江裕道（工学院大学工学部助教授）

講義2「ACL再建術の治療成績とリハビリテーション」斎藤知行（横浜市立大学医学部整形外科教授）

<午後>

シンポジウム「ACL再建術後のアスレティック・リハビリテーション—理想のプログラムとは？」

座長：浦辺幸夫（広島大学医学部保健学科教授）

シンポジスト：

吉村直樹（双愛整形外科）

津田清美（Wリーグ アイシントレーナー）

他2名を予定

指定発言：蒲田和芳

参加費：会員5000円、非会員7000円

申し込み：不要、当日入会不可

◎問い合わせ先

横浜市スポーツ医科学センター理学療法室 担当：荻野

TEL 0454775065 FAX 0454775062

■事業報告

第20回研修会報告

第20回研修会は、平成14年11月9日（土）・10日（日）の2日間にわたり、福岡市都久志会館において「関節不安定性—スポーツ動作に及ぼす影響とその対策—」をテーマと



圧倒的なデータ量をもって名講演をされた信原先生



手・肘関節不安定性についてご講演中の鶴田先生



20周年記念パーティーにご出席の先生方(右から、城所、坂本、原、鶴田、村井、三木、福田の各先生)



研修会長を務めた日野先生

し、約300名の参加を頂き、盛況に開催されました。

基調講演Ⅰの黒澤尚先生(順天堂大学整形外科教室)の膝関節不安定性についてのご講演は研修会初のビデオ講演となり、皆様にご迷惑をおかけしましたが、座長の浦辺幸夫先生との事前の打ち合わせもあり、スライドも非常にわかりやすくご講演を頂きました。

基調講演Ⅱの信原克哉先生(信原病院)は、肩関節の発生からバイオメカニクス、不安定性の捉え方や動作分析の方法など、先生の臨床における研究結果もふんだんに盛り込まれた大変興味深い内容をご講演頂きました。

教育講演では鶴田敏幸先生(鶴田整形外科)に手・肘関節について、基礎的な内容から日常の診療をもとに症例を提示されながら詳細にご教授頂きました。

シンポジウムでは足関節をテーマに掲げ、福田潤先生(藤沢湘南台病

院)には手術的治療の側面から、松坂誠應先生(長崎大学医学部)は保存的な対応の側面から、岩本久生先生(マッターホルン病院)は機能的なりハビリテーションの側面から、それぞれの先生方の、日頃の臨床での取り組みをご発表頂きました。

また、第20回研修会特別講演(FTEX協力事業)として、川野哲英先生(当会代表、FTEX代表)には、関節不安定性に対する機能的な対応について数多くの映像を提示して頂き、解りやすくご講演頂きました。

特別企画ではこれからのスポーツ医療システムについて、尾崎勝博先生(野崎東病院)、平川信洋先生(鶴田整形外科)、松田孝幸先生(S.C.P.JIN)にそれぞれの施設でのスポーツ医療に対する取り組みを紹介して頂きました。

会員発表では主題演題を含め14題の発表があり、もっとも優秀な演題に対して授与される研究奨励賞は藤堂庫治先生(三菱名古屋病院)が受

賞されました。

今回の研修会では日本体育協会、JOCのご後援や、多くの企業や施設からの協賛を頂くことができ、また九州での開催にもかかわらず多くの方の参加を頂きました。さらに、初めての九州開催ということで、研究会理事をはじめ事務局の方からは、常時適切な指導を頂くことができました。不慣れなこともあり、講師の先生や参加された皆様にはご迷惑をお掛けした点多々あったとは思いますが、準備委員、運営委員を代表し、皆様の多大なるご支援に対しこの場をお借りし、心より感謝申し上げます。今後も当会の発展にご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、九州各地の準備委員、運営委員の方々にはお忙しい中ご協力頂き、大変有難うございました。心よりお礼申し上げます。

(研修会長 日野邦彦)

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第12回ワークショップ（富山）収支決算報告書
（平成14年10月5日～6日開催）

平成14年10月11日締

勘定項目	予算額	決算額	差異（△）	備考
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	800,000	740,000	60,000	20,000円×37名
一般	175,000	560,000	△ 385,000	35,000円×16名
事業収入合計 A	975,000	1,300,000	△ 325,000	
事業費	20,000	20,000	0	
収入合計 B	995,000	1,320,000	△ 325,000	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	30,000	12,360	17,640	切手代他
事務消耗費	10,000	10,145	△ 145	
運営費	100,000	87,746	12,254	
会場費	30,000	32,480	△ 2,480	視聴覚機器借用料を含む＊1
講演費	425,000	411,292	13,708	＊2
懇親会費	200,000	75,733	124,267	
人件費	60,000	154,800	△ 94,800	運営および当日アルバイト
資料作成費	100,000	117,880	△ 17,880	
教材費	0	4,741	△ 4,741	角度計作成費用
雑費	20,000	25,121	△ 5,121	DVテープ他
ワークショップ支出合計 C	975,000	932,298	42,702	

差引差額 A-C	0	367,702	△ 367,702	
差引差額 B-C	20,000	387,702	△ 367,702	一般経理繰入

＊1：会場／富山県総合体育センター

＊2：外部講師1名・内部講師4名（富山県1名、広島県2名、愛知県1名）、助手5名